



21 政第 25 号
平成 21 年 4 月 27 日

上田地域広域連合

副広域連合長

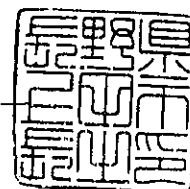
東御市長 花岡 利夫 様

青木村長 宮原 毅 様

長和町長 羽田 健一郎 様

坂城町長 中沢 一 様

上田市長 母袋 創



上田地域広域連合資源循環型施設整備事業について（報告）

平成 20 年 12 月 10 日付 20 政第 113 号にて、同施設の建設候補地の地元対応につきまして、上田市の取組経過を報告したところですが、地元交渉が進展しない局面の打開を図るため、東塩田地域全体での候補地検討を依頼した市の提案を契機として、奈良尾自治会において、同施設の受入れの是非も含めた話し合いや研究を進める「仮称・奈良尾の未来を考える会」が設立されました。

この会では 3 回にわたって勉強会が開催されましたが、去る 4 月 14 日に別紙資料のとおり、同自治会から「施設の受け入れを含めた話し合いの継続は困難」との最終的な報告をいただきました。

これにより、これまでの経過を総合的に斟酌しまして、東塩田地域に新たな候補地を選定することは困難と判断いたしました。

併せて、東山地区自然運動公園隣接山林の地元である下之郷自治会に対しましても、理解を得る努力をしてまいりましたが、上田市としては同意を得ることは困難と判断したところです。

したがって、現段階では下之郷地区を含めた東塩田地域内に建設候補地を求めることは困難である、と報告いたします。

なお、本事業を進めるに当たって、改めて提案を申し上げますので資源循環型社会の構築に向けて、新たな研究・検討にお取り組みいただきますようお願いいたします。

【資源循環型社会の構築に向けての提案】

1 可燃ごみの減量及び資源化の推進

(1) 可燃ごみの減量目標の設定

構成市町村で歩調を合わせながら、各市町村で明確な目標を設定し、可燃ごみの減量をより進めるとともに、資源循環型施設の規模等を再検討していただきたい。

(2) 生ごみ資源化（堆肥化）の推進

生ごみの資源化推進に向けて、堆肥化施設整備等の具体的な施策及び事業に対して各市町村が主体的に取り組み、この実現に向けた研究・検討を進めていただきたい。

2 新たな視点での建設候補地選定基準・条件の検討

(1) 敷地面積の再検討

上記1-(1)の検討を踏まえた上で、施設設置に必要な敷地面積の再検討をお願いしたい。

(2) 施設設置期間の検討

民有地に対して定期借地権を設定するなど、期間を限った施設設置とすることも考慮されたい。

(3) 地域振興施策の明示

地域住民に総合的に判断していただくように、候補地に対して必要な地域振興策を提案していくことも十分考慮されたい。

3 次期最終処分場設置の検討

資源循環型施設整備事業と並行して、次期最終処分場の設置についても検討していただきたい。